劇場を
創る、
という
仕事。

劇場を
創る、
という
仕事。

令和2年度
アーツアカデミー 東京芸術劇場
プロフェッショナル人材養成研修

研修生募集

舞台芸術に関わる専門人材を育成するため、東京芸術劇場では、アーツカウンシル東京が行う人材育成事業「アーツアカデミー」の一環として、将来、公立文化施設やアートNPO、フェスティバル等の舞台芸術分野で活躍する志を持つ研修生を募集します。

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

⇨ 応募書類送付先・問合せ先

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当
TEL. 03-5391-2116

https://www.geigeki.jp/

主催:
公益財団法人東京都歴史文化財団　アーツカウンシル東京／東京芸術劇場
※本プログラムは公益財団法人東京都歴史文化財団の令和2年度予算が財団理事会で可決され、同評議会が承認した上で実施が確定します。
※本プログラムの内容は、予告なく変更になる場合がございます。

東京芸術劇場について

東京芸術劇場は、東京の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点に立った芸術文化の「創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わいの創出」「国際文化交流」に取り組んでいます。本格的なクラシック音楽、演劇・舞踊等の専用ホールと専門スタッフを有し、積極的な創造活動を行う東京芸術劇場の特性を活かし、高い専門性を持つ人材を育成していきます。

Flyer design : TAICHI ABE DESIGN INC.

ARTS COUNCIL TOKYO

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

文化でつながる、未来とつながる。
Tokyo Tokyo FESTIVAL

令和2年度アーツアカデミー　東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

舞台芸術に関わる専門人材の育成

令和2年度　研修生募集概要

01 研修目的

公立文化施設等の公的機関や芸術団体、またはフェスティバル事業等で活躍することを目指す若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上、及び舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資することを目的としています。レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して、それぞれの業務に必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供するアーツマネジメント研修です。

02 研修目標

現場経験……机上の論で終わることなく、理想を実現するための経験を蓄積する。

座学……キャリアの基盤となる豊富な知識と、クリエイティブな思考を身につける。

ネットワーク形成…将来のキャリアにつなげるネットワークを築く。

03 募集コース、内容、及び人員

研修コース	分野	研修の内容（例）		募集人数
		現場実習	座学	
長期コース（10か月程度）	演劇制作 音楽制作	・公演制作 ・劇場運営 ・フェスティバル事業 ・広報業務　等	・レクチャー、ゼミ（アーツマネジメント、劇場運営、作品創造 等） ・レポート作成（月次レポート及び報告書）	各コース若干名
短期コース（3か月程度）	教育普及	・ワークショップ事業 ・地域連携企画 ・障害者アーツ ・公演鑑賞のための福祉サービス 等		

（1）実務研修は本人の経験や適性と劇場のプログラム開催時期を考慮しながら、各コース・分野のカリキュラムの詳細を決定します。研修期間を通じて複数の実務研修に従事していただきます。
（2）長期コースは2020年度末に評価を行い、必要と認めた場合は1年を限度に更新することができます。ただし、2021年度以降は予算の成立状況等により、内容に変更が生じる可能性があります。
※研修への取り組みに問題が見られる場合は、研修期間中であっても受講を取り消すこともあります。

04 研修期間及び時間

（1）研修期間……■長期コース　2020年4月下旬～2021年3月31日［水］　年間10か月間
■短期コース　【前期】2020年4月下旬～9月30日［水］のうち、3か月程度
【後期】2020年10月中旬～2021年2月28日［日］のうち、3か月程度

- 長期・短期コースとも、研修内容により、研修日は週4日～週6日程度まで変動します（土日祝を含む）。
- 短期コースの研修開始日及び終了日は、事業の予定と本人の希望を考慮し、相談の上決定いたします。

（2）研修時間…… 原則として、8時45分～22時00分のうちの7時間45分（シフト制）

05 研修場所

東京芸術劇場、東京舞台芸術活動支援センター（水天宮ピット）、その他

06 参加費

無料（食事代や東京芸術劇場までの交通費等は、各自負担となります）
※当劇場以外の場所で研修する場合、当劇場から研修地までの交通費は、実費を負担します。

07 レポートの作成・提出

研修期間中に携わった業務について、当劇場が定める具体的な課題を基に所定の期間内に月次レポート及び報告書を作成し、提出していただきます。一定の水準を満たす内容のレポートを提出し、受講内容に問題がなければ、原則として1レポートごとに18万円（査定有り）をお支払いします。

- 上記金額には、調査研究費、通信費、及び報告書作成に係る事務経費を含みます。
- レポートの内容、及び受講態度等の評定により、減額することもあります。
- 雇用契約ではありませんので、労災保険、雇用保険、社会保険の適用はありません。

※公共劇場等勤務先から派遣される研修生の場合については、別途当劇場と派遣元と協議の上、条件その他を決定します。
※支払に際しては、支払額を所得とみなし所得税を源泉徴収し差引額をご指定の口座に振り込みます。

08 応募資格

（1）職業として劇場やアートNPO、フェスティバル事業等での制作者（プロデューサー、コーディネーター）を目指し、研修期間中、高い意欲を持ち、真摯な態度で研修に取り組むことが出来る方。
（2）下記①～③のいずれかに該当すること。
①演劇または音楽の分野で、概ね3年以上の制作経験がある方（劇団、制作会社、フリーランス、大学、及び大学院等）。
②文化施設での勤務経験のある方。
③企業等において、概ね3年以上の実務経験がある方。
（3）年齢22歳以上35歳位までであること。
（4）基本的なパソコン操作が可能なこと（エクセル・ワード・メールソフトなど）。

09 選考方法

（1）第一次選考……書類審査　応募書類及び課題論文による書類選考
（2）第二次選考……面接　面接日　2020年2月16日［日］
第一次選考合格者に対して、主として人物及び識見についての面接を行います。

10 募集期間

2019年12月25日［水］～2020年1月27日［月］必着（郵送のみ受付）

11 応募方法等

（1）応募方法……簡易書留にてご郵送ください。その際、封筒に赤字で「アーツアカデミー研修生申込」と明記してご応募ください。
※電子メール、FAX、及び持参による受付は行っておりません。
（2）応募書類……①所定の「研修生選考申込書」
②所定の「履歴書」
③所定の「志望動機・自己PR書」
④論文1600字以内、指定の様式による。課題：「劇場法と公共劇場の役割について」
⑤所属長推薦書（該当する方のみ）
公共劇場等勤務先から本研修に派遣される場合は、所定の推薦書を提出してください。
⑥返信用封筒　定型封筒（長3）に84円切手を貼付し、住所・氏名・郵便番号を明記してください。
①～⑤の各様式は、東京芸術劇場ホームページ（https://www.geigeki.jp/info/20191207）からダウンロードできます。
応募の際にお預かりした個人情報については、本選考に必要な範囲内で利用させていただきます。
なお、応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。

12 合否の発表

（1）第一次選考結果は、締め切り後2週間以内で本人あてに発送します。
（2）第二次選考結果は、面接終了後2週間以内に本人あてに発送します。
※ 選考結果については第一次、第二次とも電話等による問合せには応じられません。